

平成 29 年 12 月 14 日

学校法人聖ヶ丘学園 聖ヶ丘教育福祉専門学校  
平成 29 年度教育課程編成委員会報告書

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校校長  
教育課程編成委員会委員長  
井 上 貴 恭

平成 29 年度、教育課程編成委員会を実施しましたので、下記のとおり報告します。

1 委員 <11 名>

番号	氏 名	所 属
1	園田 菜摘	横浜国立大学教育学部教授
2	斉藤久美子	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校附属育和幼稚園副園長
3	江津 秀子	学校法人聖ヶ丘学園八幡橋幼稚園園長
4	秋山菜穂美	学校法人聖ヶ丘学園うみの風保育園園長
5	雨池ヒサ子	学校法人聖ヶ丘学園にじの風保育園園長
6	増田ツヤ子	学校法人聖ヶ丘学園ひかりの風保育園園長
7	井上 貴恭	学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校校長
8	今村 雅彦	同 副校長兼教務部長
9	渡辺 潤一	同 実習指導部長
10	亀田 良克	同 就職指導部長

陪席者 <5 名>

学校法人聖ヶ丘学園聖ヶ丘教育福祉専門学校

渡邊 慶信事務長 柳田 葉子実習部員 山下 佳香実習部員 (第 2 回のみ)  
齊藤 裕美教務部員 黒石 憲洋教務部員

2 教育課程編成委員会開催日時

第 1 回 平成 29 年 9 月 13 日(水) 15:00~17:00

第 2 回 平成 29 年 10 月 11 日(水) 15:00~17:00

<開催場所> 聖ヶ丘教育福祉専門学校 1 階 会議室

3 委員会次第

第 1 回次第

- (1) 平成 29 年度教育課程編成委員会の体制について
- (2) 学校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 平成 28 年度教育課程編成委員会報告書の措置状況について

- (5) 意見交換
- (6) 議事内容及び日程等
- (7) その他

#### 第2回委員会次第

- (1) 委員長挨拶
- (2) 資料確認
- (3) 第1回議事録確認
- (4) 平成29年度教育課程編成について
- (5) 意見交換
- (6) 次年度の委員会について

#### 4 議事報告

##### (1) 平成29年度教育課程編成改善報告

###### ① 学生による授業評価アンケートの実施

###### <委員からの提言>

教員の授業改善に向けた振り返り用紙について、すべての教員が漫然と記述することだけを目的とするのではなく、今後の授業改善を念頭に置いたものであることが望ましい。「改善する」「改善しない」に教員が○を付ける形式は、直接的であり意識が高まると思われる。特に2点台の評定値が多い教員への対応に力を注ぐことが望まれる。個々の授業改善については担当教員に委ねることになるが、学校側からフィードバックを行う必要性も検討されるとよい。

###### <平成29年度対応済み措置>

前期から「学生による授業評価アンケート」結果による授業の振り返りと今後の指導について、教員が記入する用紙を改善した。【授業評価アンケートから見えた課題点及び振り返り】【次年度に向けた改善策】の欄を作成し具体的に書くことができるように改善した。

###### ② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

###### <委員からの提言>

年度末に非常勤講師打合会を実施しているが、文部科学省による指定教員養成機関実地調査により指摘されたシラバスに関する問題点について科目担当教員の協業体制により、さらなる改善を図っていくことが望まれる。

###### <平成29年度対応済み措置>

文部科学省による指定教員養成機関実施調査において、シラバスに関する指摘が複数あったため、教務部において指摘内容の精査を行い、修正の方針を策定した。それらを踏まえて科目担当者と協議し、シラバスの修正を行った。修正したシラバスについては、本校公式ホームページ上に掲載し公表した。また、全校共通のシラバス記載方針を策定した。

###### ③ 文章力向上

###### <委員からの提言>

文章力の向上については、課題図書を提示し、学生が内容を発表する等の演習も組み込んでいくことを検討されたい。さらに、教員が教育関連の書籍を紹介するだけでなく読むことを促すことが望ましい。プレゼンテーション技能の向上については、「情報機器の操作」の担当教員に授

業内での指導を依頼することを検討されたい。

＜平成 29 年度対応済み措置＞

委員から「国語」の授業において文章力の向上を図るよう提言があったが、「国語」は教員職員免許法施行規則における「教科に関する科目」であるため、この授業内で文章力向上の取り組みを行うことは適切でないと判断し、授業以外で文章力の向上を図ることとした。具体的には、読書感想文「私の読書メモ」の取り組みを通じて文章力向上を図った。

#### ④ 一般常識及びマナー等の習得に向けて

＜委員からの提言＞

SNS の使い方については指導を全学生に向けて行うことが望まれる。また、卒業後、自ら考えて適切に動くことができる主体性を養っていく必要があり、提出期日を守るという基本的事項も学生のうちから徹底した方がよいと思われる。

＜平成 29 年度対応済み措置＞

二部生については助手勤務をしていることもあるため、入学オリエンテーションにおいて担当教員から SNS の指導を行った。

#### ⑤ 実習指導について

＜委員からの提言＞

当面は「教育・保育実地研究」および「保育実地研究」の円滑な運用を目指していただきたい。30 回の内容は、授業の目的・ねらいを明確化しそれを学生および園に伝える必要があり、なかでも実習後の振り返りは重要であるため、時間の確保の検討は今後の課題であろう。また、「保育のつどい」への参加を授業計画の中に入れることも検討されたい。一方、考察する力が弱い学生もいるので、考察の枝分かれとなるポイントを重点的に指導していくことが望まれる。

＜平成 29 年度対応済み措置＞

「通年実習」の教育課程科目化（単位化）について神奈川県に届け出を行った。幼稚園教員・保育士養成科では「教育・保育実地研究」、保育士養成科では「保育実地研究」と名称を決定した。科目の区分は「実習」ではなく、実習前に実地を体験させる「演習」とした。授業の一部を実地で行い、学校側で評価を行うという形式となる。

### (2) 平成 30 年度教育課程編成改善方策について

#### ① 学生による授業評価アンケートの実施

「学生による授業評価アンケート」の振り返りにおいて「改善する」「改善しない」に教員が○を付ける形式を取り入れ、特に 2 点台の評定値が多い教員への対応に力を入れていく。

#### ② 常勤及び非常勤教員の協業体制の構築

文部科学省による指定教員養成機関実地調査により明らかとなったシラバスに関する問題点について科目担当教員の協業体制によりさらなる改善を図っていく。

### ③ 文章力向上

「国語」以外の科目で課題図書を提示し、学生が内容を発表する等の演習も組み込んでいくことを検討していく。プレゼンテーション技能の向上については、いくつかの科目において指導を行える可能性があるが、PCの台数に限りがあり実施には検討を要する。まずは「情報機器の操作」の担当教員に授業内での指導を依頼する方向で検討していく。

### ④ 一般常識及びマナー等の習得に向けて

今後は入学オリエンテーション等を通じて全学生を対象にSNSの使い方について指導を行うことを検討している。

### ⑤ 実習指導について

実習後の振り返りや考察の指導に力を入れていく。また、「保育のつどい」への参加を授業計画の中に入れることも検討する。

以上